

熊本県球磨郡水上村湯山方言の立ち上げ詞 村上敬一

I. はじめに

1. 調査対象地： 熊本県の東南端に位置する水上村は、日本三大急流のひとつ球磨川の源流を有し、宮崎県椎葉村、西米良村と県境を接する。九州山地のふところ深く抱かれた地であって、春には市房湖のほとりに3万本のサクラが咲き誇り、秋には山々に映える紅葉が村を飾る。豊かな自然に恵まれた、素朴な土地柄である。面積 192.11km²、人口約 2,700 人、世帯数約 900 戸。清流米、茶、粟、イチゴなどの農業と、林業を主産業とするほか、市房山、市房湖、湯山温泉への観光にも力を入れている。
2. 調査年月日：2005年8月26日（金）午後1時から午後5時まで
3. 話者：藤芳孝徳さん（1933年生・72歳）
同席者：那須モトメさん（1934年生・71歳） 黒木桂子さん（1938年生・67歳）
※ 調査結果には、男性である藤芳さんの回答を記述する。
4. 調査者・調査場所： 村上敬一・藤芳さん宅
5. 調査方法： 統一調査票による質問調査
6. その他：① アクセントは棒引きアクセント。高さの山に棒を引く。
②話者の説明はく >に、筆者の但し書きは [] に記す。

II. 調査結果

I. 自己の啓発的な行動を立ち上げるために、自己に向かって発信する「立ち上げ詞」

- (1) どっこいしょ。一休みしよう。
○ドッコイショー。イップク シューカー。／イップク スッゾー。どっこいしょ。一服しようか。／一服するぞ。
- (2) どうれ。出かけることにしよう。
○サー イコカー。さあ、行こうか。
- (3) よいこらしょ。とうとう山の天辺に着いた。
○アー キツカッタニ。ヤット ノボッチータ ナー。ヤオイカンジャッタ ナー。
ああ、きつかったな。やっと登り着いたな。簡単には行かなかったな。
- (4) しまった。もうちょっとで落ちるところだった！
○アー シモタ。ツコクーデシタ！／ツコクーハズジャッタ！ ああ、しまった。こけようとした。／こけるところだった。
- (5) くわばらくわばら。恐ろしかった！
○アー オゾカッタ ナー！／オトロシカッタ ナー！ ああ 恐かったなあ！／恐ろしかったなあ！<「オゾカッタ」は水上村（奥球磨地方）、「オトロシカッタ」は多良木町（中球磨地方）の言い方。>
- (6) しめた！ 今度の魚は大きいぞ。
○アーラ！ フトカトン クロータ バイ。しめた！ 大きいのがかかったぞ。
- (7) ままよ。飛び越えるしかない。
○ウチクワレトッデ ヒットブシカ ナカ。壊れてしまっているから 飛んでいくしか

ないな。[話し手の心理は、比較的冷静な状態にある。]

(8) なにくそ! 負けてなるものか。

○ヤッゾー! /ミトツテミロ。 アンヤツニワ マクンモンカ。 /マケヤセンガ。
やるぞ。 /みている。 あいつに負けるもんか。 /負けやしないぞ。

(9) しめしめ! 誰も気がついていない。

○ヨカヨカ! ダイモ ミトイヤランデ クオカ。 /ミトランデ クオカ。
いいぞ! 誰もみていないから食べようか。

(10) ちえっ。 つまらないなあ。

○クソッ。 シカトンナカ。 /イッチョン オモシロナカ。 くそっ。 つまらんなあ。
 /全然面白くない。

(11) ちくしょう! 仕返しをしてやる。

○コンヤロー! コンダー ミトツテミロ クソタレガ。 この野郎! 今度はみているよ、くそたれめ。

(12) くそっ! 覚えている!

○クソッ! ミトツテミロ。 /オボエトケヨ。 くそっ! みておれ。 /覚えとけよ。

(13) おやおや、いったいどうしたの。

○コラコラ、チョット。 ドギヤ シタト。 グレタナ。 これこれ、ちょっと。 どうしたの。 疲れたのかい。 <親しい年上の人に向かっての言い方。 >

(14) えへん、えへん。我が輩は村いちばんの力持ちじゃ。

○オラナ、ムライチバンノ チカラモチ バイ。 オマイドメニヤ マケンゾー。
俺はね、村いちばんの力持ちだよ。 お前たちには負けないぞ。

(15) はてな、ここはどこだろう?

○アラー、ドコジャロカ。 マグレタツジャロ。 あれ、(ここは) どこだろう。(道に)
迷ったんだろう。

II. 他者の発話に呼応して、応答の発話を立ち上げる「立ち上げ詞」

(16) はい、承知いたしました。

○ハイ、ワカッタデス。 /ワカッタバイ。 はい、わかりました。

(17) はい。 宜しゅうございます。

○ハイ、ヨゴザシタ。 /ヨゴザイマス はい、ようございます。 <「ヨゴザシタ」は古い表現。最近では「ヨゴザイマス」がほとんど。 >

(18) ええ、ここに居ます。

○ハイ、コケ オリマス。 /オットヨナ。 はい、ここにいます。

(19) んだ。 私の傘です。

○ハイ、オガ カサバイ。 /オガト。 はい、私の傘です。 /おれの(傘)。

(20) さよう、さよう。あなたの言う通り。

○ウンウン。 ワイガ ユーゴツタイ。 /オマエガ ユーゴト。 うんうん、お前の言うとおりでよ。 /お前が言うとおりでよ。

(21) はいきた。おやすいご用です。

○ウン。 シテヤッガ。 /シテヤッバイ。 うん、(ご用を)してやるよ。

- (22)よっしゃ、やりましよう。
○サー シューカナー。／ヤッバイ。 さあ、しようかな。／やるよ。
- (23)よしきた。おき受けいたましよう。
○ヨカバイ。オッガ スッガ。 いいよ。俺がするよ。
- (24)がってんだ。一っ緒に行きましよう。
○エーソラ。イッショニ イクガ。 わかった。いっしょに行くよ。
- (25)かっばのへだ。簡んだ。
○ソーラ コンクライン コタ ヒミャー イランジャ。 ヤシーモン。
それは このくらいのことは 暇(時間)もかからないよ。簡単なものだ。
- (26)いえいえ、とんでもございません。
○イヤー ソガンコタ ナカデスパイ。 いいえ、そのようなことは ないですよ。
- (27)なんの、たいしたことではございません。
○イヤー タイシタコター ナカー。 ヨカ アンビャー デケントヨー。
いいえ、たいしたことはない。(間伐材を利用した木工品は) いい具合にはできないんだよ。
- (28)なあに、擦り傷ぐらい、すぐ治るさ。
○アー タイシタコタ ナカゾー。 ツバツケトレバ ナオス。 なに、たいしたことは ないよ。唾をつけておけば治るよ。
- (29)なにさ、いつも調子の良いことばかり言って！
○アングドガ ノボセタコドバカ ユーテ！ あの外道め、思い上がったことばかり 言って。
- (30)いやはや、とんだ目に遭いました。
○イヤー タイギヤナメニ オータデスパイ。 いやあ、たいへんな目に遭いました。
- (31)へん、勝手にしやがれ。
○ソラ ヨカゴトシテ イッチョキナイ。
それは(自分の) いいようにして、ほっとけよ。
- (32)なめるんじゃねえよ。こいつ！
○アーヤ バカンスンナ！ ワイドンガ ヒトバ ナンテ オモトルカ。
こいつ、ばかにするな。おまえは、人をなんだと思っているのか。
- (33)冗談じゃない。口から出任せを言って！
○バカガ ジョーダンジャナカ。トボケタコツバ ユーテカラ！
馬鹿か、冗談じゃない。とぼけたことを言ってから！
- (34)だまらっしゃい。出鱈目ばかり言って！
○ダマツレ。 バカンゴタツコツ ユーテ！ チッタ オトナシュセロ。
黙っておれ。馬鹿みたいなことを言って！ 少しはおとなしくしろ。
- (35)そうは間屋がおろさねえ。黙っていられねえ。
○ソギャン カツテナコトバカッ サセン。 ダマツテ オラルッカ。
そんなに勝手なことばかりはさせない。黙っていられるか。
- (36)うそもへチマもありゃしねえ。我慢できねえ。
○ウソモ ヘッタクレモ アルカ。 アー コラエキレン。

- 嘘もへったくれもあるか。ああ、我慢できない。
- (37)寝言は寝て言え。このやろう。_____
- ネゴタ ネット ユエ。 コンゲドガ。/ゲドクサレガ。
- 寝言は寝て言え。この外道が。
- (38)あたりきしゃりきのけつのあな。当たり前だ！
- ホント ホント。 ソラー アタリマエタイ。
- ほんとう、ほんとうだ。それは、当たり前だ。
- (39)きみょうきてれつだ。それは変だ。
- ソラー ヘンカバイ。/ミョーナカバイ。それは、変だよ。/妙だよ。<「ヘンカ」のほうが新しい言い方。>
- (40)ほほう、それは親孝行なお子さんですね。_____
- ウーン アンタゲン コワ ジンベンナ コナー。
- うーん、あなたの家の子どもは、たいそう親孝行な子どもだね。
- (41)まいったまいった。しかたがない。_____
- マイッタナイ。 シヨンナカタイ。/イヤシッター。
- 参ったな。仕方がないな。/失敗したなあ。

Ⅲ. 他者との関係を立ち上げるために、他者との言語情報を結節する「立ち上げ詞」

- (42)もしもし、すみません。役場はどこにありますか。_____
- チョット スンマッセンバッテン、ヤクバワ ドコニ アットデスカニャー。
- ちょっとすみませんけど、役場はどこにあるんでしょうかね。
- (43)のうのう、旅の人。お立ち寄りください。_____
- オーイ チョット ウチサン ヨンナーイ。チャードン ノンデイキナーイ。
- おーい、ちょっと家に寄らないかい。お茶でも飲んでいかないかい。
- (44)ほら、ご覧なさい。向こうに公園があります。_____
- アラー/オイ、 アソコバ ミテンナイ。 アスケ コーエンノ アッデ。
- あらー/おい、 あそこをみてみないかい。あそこに公園があるから。
- (45)やいやい。こんなに朝早くからどこへ行くんだ？ _____
- アラー/オイ、 エライ ウッタッテ ドケ イクトナ？
- あらー/おい、とてもいい身なりをして、どこに行くんだい？ <「オイ」は親しい相手に使うことが多い。>
- (46)よう、兄弟。これから何をするつもりだい。_____
- オイ、 コイカラ ナンスッ？/ナンシット？ おい、 これから何をする？
- (47)いざ、さらば。_____
- ホッジャナー、 マタ クッデー。
- それじゃなー。 また来るから。
- (48)ささ、ご遠慮無く、召し上がりて下さい。_____
- サー エンリョシナンナ。 ドーゾ クテクダイ。
- さあ、遠慮しなさんな。どうぞ食べてください。

- (49)さて、そろそろ一服しませんか。
 ○サー ポチポチ ヨクーカー。／ヨクオーイ。
 さあ、ぼちぼち休もうかな。／休もうよ。
- (50)これこれ、ちょっと静かにしなさい。
 ○コラッ チッタ ダマツランカ。
 こらっ、少しは黙っていないか。
- (51)おい、こら。万引きをしてはいけない。
 ○コラッ オットット イカンゾ。 ワルコト スンナ。
 こらっ、盗んではいけないぞ。悪いことをするな。
- (52)おどりゃあ。いい加減にしないか！
 ○コラッ タイギャ シトケ。
 こらっ、大概にしておかないか。
- (53)おのれ、裏切りやがったな。
 ○ワヤッ ウソバッカ ユータナイ。
 お前、うそばかり言ったな。
- (54)どっこい。その手には乗らない。悪質な訪問販売を断るとき
 ○ソギヤンタ ヨカバイ。そんなことはいいよ。[話し手の心理は、冷静な状態にある。]
- (55)どうだ、参ったか？
 ○コラ マイッタカヤ？ こら、参ったかい？
- (56)せいの、よいしょ！
 ○セーノガ ハイ！ ドッコラシヨ！ せいのがはい！ どっこいしょ！
- (57)ようい、どん！
 ○ヨーイ ドン！ ようい、どん！
- (58)いっせいの、で！
 ○ヨイショガ ハイ！ よいしょではい！
- (59)よいしょ、よいしょ、もう一息だ！
 ○ヨイショ ヨイショ マチット マチット！
 よいしょ、よいしょ。もうすこし、もうすこし！
- (60)うんとこしょ、どっこいしょ。
 ○ドッコイショ ドッコイショ。 どっこいしょ、どっこいしょ。
- (61)わっしょい、わっしょい、祭りだ、わっしょい。
 ○ワッショイ ワッショイ。 わっしょい、わっしょい。
- (62)はじめはぐう、じゃんけん、ぼん！ あいこでしょ。
 ○ジャンケンポ！ アイコデシヨ。 じゃんけんぼん、あいこでしょ。
- (63)きをつけえ、まえへならへ、なおれ。
 ○キオツケ マエーナラエ、ナオレ、ヤスメ。
 気をつけ。前へならえ。なおれ。休め。
- (64)きりつ、れい、ちゃくせき。
 ○タテー、レー、スワレー。 立て。礼。座れ。

- (65) ばんざい、ばんざい。やった、やった！
 ○アー ヨカッタ ヨカッター。 ああ、よかった、よかった。
- (66) えいえいおう。頑張るぞ。
 ○ヤッゾー。 やるぞー。
- (67) 中村君の誕生日を祝して、かんぱい。おめでとう。
 ○カンパーイ。オメデトー。 かんぱい。おめでとう。
- (68) やっほう、やっほう。
 ○ホーヤー ホーヤー。ほーやー、ほーやー。 [「ホーヤー」は、「やっほう」を音節転換させた形式。]
- (69) ふれえ、ふれえ、白組。
 ○フレー フレー ガンバレ ガンバレー。
 ふれーふれー、がんばれ、がんばれー。
- (70) おにはそと、ふくはうち。
 ○オニワ ソト、フクワ ウチ。 鬼は外、福は内。
- (71) べらぼうめ、とんでも無い子だ。
 ○バカタレガ、ナンテ オモトットカ オマエフ。
 馬鹿たれめ、何を考えているのか、お前は。
- (72) それみたことか、わんぱく坊主。登るのを止められていた木に登っていて、誤って転落したこどもに向かって
 ○ソラミロ、サデコケタログ。ケガ センジャッタカ。
 そらみろ、転んだだろう。怪我しなかったか。
- (73) ざまあ、みろ。いい気味だ。
 ○アイーガ。ヤッパ オモテミタゴトジャッタ (いい気味だ)。
 ああ、やっぱり思っていたとおりだった。
- (74) ちくしょうめ、ひどいことを言いやがる。
 ○アングドガ、オーチャッカコトバッカ ユーテ。
 あの外道、横着なことばかり言って。
- (75) このやろう。どうしてくれようか。
 ○ワヤー ドゲーシテ クルーヤ。
 お前、どうしてくれるのか。
- (76) たわけ、ふざけたことを言うんじゃない。
 ○ワヤー トボケタコタ ユーナ。
 お前、とぼけたことを言うな。
- (77) ばかやろう、いい加減なことを言うな。
 ○バカタンガ、ナン カヤスカ。
 ばかやろう、なにをぬかすか。
- (78) あなかま、静かにしなさい。
 ○オイ、ダマツトレ、オトナシュ セロ。
 おい、黙っておれ。おとなしくしろ。

(79) しいいっ、静かにして！

○チット ダマツッテンナイ／ダマツキナイ。

少し黙っておいてみなさい。／黙るときみなさい。

(80) ちちんぶぶい、蛙、蛙、生き返れ。

○ 回答なし

(81) あっかんべい、鬼さん、こちら。

○オニサン コチラ。 鬼さん、こちら。

(82) あっばれ、お見事。立派です。

○ワー ヤッタナー、ジョーズナー、ミゴトナ モン。エラカナー。

わあ、やったなあ、うまいなあ。見事なものだ。偉いなあ。

(83) でかした、でかした。日本一。

○ヤッタナー、ヨカッタナー。 やったなあ、よかったなあ。

(84) しっけい！ すみません。

○アラー／アラアラ スンマセーン。 あらあ／あらあ すみませーん。

(85) あばよ、達者でな。

○マタナー、ゲンキシトンナイネー。／マタ アオイネー。

またな、元気にしていてね。／また会おうね。

Ⅲ. 総括

以上の記述から、いくつかの特筆すべき点について、以下にまとめてみたい。なお、()の数字は、調査票の質問番号と対応する。

① 語形と卓立の関係について

「オイ」(46)(78)は、基本的に親しい仲間内や子どもなど目下の者との関係を立ち上げるために、それらとの言語情報を結びつける立ち上げ詞である。いっぽう「オーイ」(43)のように一拍目を際だたせて発音することによって、ある種の親しみを表出する効果が期待できるので、たとえば、見知らぬ旅人に向かって呼びかけるときに使用することができる。

「ワヤッ」(53)は、オウワクくワヤクくワヤと変化して生まれた「ワヤ」の二拍目を促音化させて卓立したものと思われる。二拍目を長音化して卓立させた「ワヤー」(75)(76)もある。促音化、長音化させることで、他者の道理に合わない言動に対して、強い非難の気持ちを立ち上げる発話を導くものと思われる。

「ソーラ」(25)は、応答の発話内容についての確信の度合いが、極めて高いときの立ち上げ詞である。同じように一拍目に卓立をおいた「アーラ」(6)は、自己の意外な気持ちを表出する発話を立ち上げるはたらきをする。

いっぽう、二拍目に卓立をおいた「ソラー」(39)は、応答の発話内容に、不信や疑問の気持ちが大きいときの立ち上げ詞である。「アラー」(15)は、応答の発話内容について当惑の気持ちが大きいときに現れる。同じ「アラー」(44)でも、不信、疑問、当惑というよりは、他者の注意を喚起する発話を立ち上げるはたらきをしているものもある。

② 単独語形と疊語形の関係について

「コラ(ッ)」(50)(51)(52)(55)が単独で使用されるときは、他者(主として目下・年下の者)の行為をいさめる発話を立ち上げる際に現れる。しかし、「コラコラ」(13)のように疊語形で使用されるときは、目の前の事態について自己確認のための発話を立ち上げる機能を持つようである。この場合、目の前の事態の行為者との上下・親疎の関係は問題にならないようである。

「ウン」(21)は、他者の依頼について、快諾の意思表示を立ち上げる機能を持つといえるが、疊語形の「ウンウン」(20)は、他者の発話内容について、消極的な受容または無関心を表明する発話を立ち上げるはたらきをしている。さらに「ウン」(40)は、他者の発話内容に対して、ある種の驚きを表す発話を立ち上げるはたらきをしている。疊語形にしたり抑揚をつけたりすることで、「ウン」にはさまざまな立ち上げの機能のあることがわかる。

③ 「立ち上げ詞」の新旧

「アングドガ」(29)「コンゲドガ」(37)は、仏教用語「外道」に由来するものと考えられる。「ゲドー」は、古い文献にもみることができ、そこから派生したと考えられる語は、西日本を中心に広く分布している。いっぽう、「クソッ」(10)(12)、「バカガ」(33)などは「ゲド」よりも比較的新しく、共通語的といえよう。

先にも挙げた「ワヤ」も、「ワヤクモノ、ワヤクナモノ」(道理の合わないこと、無理を言ったりしたりすること)の意味で、日葡辞書に記述がある。

④ 土地の風俗習慣・環境と「立ち上げ詞」

(70)のような豆まきのかけ声や(61)のような祭りのかけ声などは、共通語的である。その理由として、話者の述懐によると、当該地域における豆まきの習慣や祭りで御輿を担ぐ習慣は比較的新しいものであるため、該当する方言形はない(共通語と同じ)とのことであった。同じように、(67)のような誕生日のお祝いも、子ども、孫の代になって入ってきた習慣ということである。土地の風俗習慣や、自然・社会環境と「立ち上げ詞」がどのようにかかわりを持つのか、興味のあるところである。

(むらかみ けいいち 神戸松蔭女子学院大学)